

# 国際知財司法シンポジウム2020

## Judicial Symposium on Intellectual Property 2020

～日米欧における知財司法の現在地と課題～  
Latest Developments and Challenges in IP Judiciary  
in Japan, the United States and Europe

**2021年（令和3年） 1月21日（木）午後8時から午後11時40分**  
（※時間については今後変更される可能性があります。）

開催形式

ウェブ会議による開催（インターネットによる同時中継）

主催

最高裁判所 知的財産高等裁判所 法務省 特許庁  
日本弁護士連合会 弁護士知財ネット

登録  
不要

視聴  
無料

国際的な知財紛争の司法判断や近時の知財トピックについて、各国の法曹関係者や審判官がディスカッションを行う「国際知財司法シンポジウム」を今年度も開催します。本シンポジウムは、2017年（平成29年）にスタートし、我が国の知財司法制度はもとより、海外諸国の制度に関する最新事情を提供する画期的なイベントとして、過去3回の開催で大きな反響を得てきました。

4回目となる今回は、新型コロナウイルス感染症に配慮して、ウェブ会議形式で開催することとし、日米欧の専門家が知財紛争に関する最新の議論と課題についてパネルディスカッションを行う予定です。

### 第1部（裁判所パート）

- ①特許権侵害訴訟における均等論の実情
- ②新型コロナウイルス感染症の影響下での裁判運営

### 第2部（特許庁パート）

- ①仮想事例に基づく進歩性判断に関する議論
- ②各庁審判部における新型コロナウイルス感染症に対する取組

【パネリスト】以下の国等の裁判官、弁護士又は審判官  
日本、アメリカ合衆国、英国、ドイツ及び欧州特許庁

#### 【言語】

日本語・英語（日英同時通訳あり）

#### 【その他】

- ① 全プログラムについて、インターネット中継を予定しています。
- ② パネルディスカッションの題材として、日本の模擬裁判等（第1部(裁判所パート)）及び事例説明（第2部(特許庁パート)）を収録した動画を専用ホームページ（追って開設予定）上で事前に公開します。
- ③ 詳細は、専用ホームページに掲載されます。